

# ぴたらファーム 通信

## ●畑の状況

9月に入り一気に秋めいてきましたよ。最後の力を振り絞るかのように鳴くミンミンゼミやツクツクホウシの声は頭上で響き渡り、草むらの中からはコオロギやマツムシの鳴き声、田んぼを見上げれば無数のとんぼ、畑の端にはコスモスやワレモコウやススキ。夏から秋への季節の変わり目が、耳にも目にもこんなにもにぎやかであることに、うっとりできるゆとりが少しでてきました。

夏の畑が落ち着きを見せる中で、秋作の種まきが本格的に始まりました。食べるのが待ち遠しい大根やかかぶや葉もの類などたくさん蒔き始めましたよ。こここのところ本格的な雨がずっと降っていないため、発芽を助けるために水遣りをしていましたが、ようやく待ちに待った本格的な雨が降ってくれました。実際に手で水をやってみると乾いた土の表面数センチを湿らすのにも相当量の水が必要であり、雨の偉大さに気づきます。

さて、もうひとつの種つながりの作業。種採り用として残して育てていたキュウリを収穫しました。きゅうりはほおっておくとどんどん大きくなります。どんどん大きくなってどれぐらい大きくなるのかなーっと思いきや、大きいものは全長60cm 直径8cm 重さにして1.4kgにまでなりました。収穫後、さら



に1週間日陰で追熟して縦にわり、種をかき出しました。まだまだ種取りは勉強中。F1がどうだとか固定種がどうだとか考慮している難しい話

肩叩きによさそうなジャンボきゅうり^^

もあるんですが・・・純粋に昔の篤農家が種を採り種を繋げて地域の野菜を守ってきたように、種採りをして作物がこの白州の気候や環境に順応して強くなっていく姿を見たい思いがあります。少しずつ頑張ります。

by 彩華 (畑・こかぶ担当)

## ●ぴたらぶの田んぼ

**田植えをしてから90日程度。稲穂の重みや大風にも倒伏しないように、中干しという作業をしています。**

単純に生育途中に田んぼから水を抜いてしまうことですが、常に周りを満たしてくれていた水がなくなることで稲の根は水を求めて下へ伸び、大地をしっかりと掴まえるようになります。今回は大地にひびが生えるくらいまで強めの中干しにするつもりです。収穫まで一月きりました。あと少し！ by 泰斗 (畑担当)

## ●ファームの様子

ぴたらファームでは8月の毎週末、小淵沢にあるリゾナーレというリゾート施設内で行われていた八ヶ岳マルシェに参加しました。

どこかヨーロッパの匂いを漂わせる施設内で、のんびりと買い物にいらっしゃるお客様の「食」に対する関心はとて高く、中には僕なんかよりも野菜の栽培方法や調理方法に詳しくてオロオロとたじろいでしまう事もしばしば(笑)

八ヶ岳マルシェは9月から11月までの毎週末も引き続き行われます。秋が近付き、ぴたらファームのイベントもコンポストイレ作りや収穫祭など面白い企画が目白押しです！

是非週末はファームへお越しになり、帰り際にマルシェを覗いてみてはいかがでしょうか？ by 真吾 (畑&イベント担当)



新鮮な野菜を取り揃えてお待ちしています(^\_^)



## <コラム:東京発スローライフ⑰> 感覚を開こう

このコラムは東京でファームの運営を担当している大樹が書いています。

いつの間にやら、網戸の向こうから秋の虫の音が聴こえるようになりました。こうした感覚というものは不思議なもので、さらに耳をそばだててみると、たいした緑地があるわけでもない、東京の片隅でも、それこそ様々な虫の音が聴こえてきます。意識すれば、より感覚は鋭敏になるのです。

都会で暮らしていくということは、実は、意識的に感覚を鈍くさせていくことなのだと思います。都会で、せかせかと働いているときに、風が運んでくる季節の匂いも、鳥や虫の音も、空にかかっているかもしれない大きな虹も、敢えて感じ取らないようにしているのではないかと思います。一々、そうしたものを感じ取っていたら、仕事が前に進まないですから。つまり、季節の変化を感知することが都会の多くの仕事では意味をもっていないのです。

一方で、農を職業としている人は、意識的に感覚を鋭くさせているように思います。風、光、動物や虫の一つ一つが、今後の天候の変化や、野菜の生育状況を教えてくれるものだからです。

その昔、日本人が四季折々の自然の中で、それを感じ取って生きてきたのは、自然に寄り添って、感覚を使うことに、生きる上で、意味があったからです。

映画では、主人公の気持ちが動かされるときに、敢えて、そのシーンに、風を吹かせたり、光を満ち溢れさせたりすることがあります。逆に考えれば、季節の変化や、一瞬一瞬の変化をつかみとることができるということは、つまりは心を動かし、豊かに生きることにつながるのではないかと思います。感覚を使うということは必ずしも楽しい感情ばかり、蘇らせるものではないでしょうが、嬉しいだけじゃなく、哀しいとか寂しいとか感じ取れることも大切なのだと思います。

(運営担当:大樹)



9月の水面に映る空

## <<ファームからのお知らせ>>

●野菜セット次回のお届けについて 隔週の方⇒9月22日(土)、毎月(第2週)の方⇒10月13日(土)

●野菜セットの代金お支払い方法について

- ・定期(毎週 or 隔週 or 毎月) ⇒月末にE-mailでご請求いたします。
- ・お試し1回注文 ⇒野菜セットのボックスに請求書を同封します。

●ファームのお米とお味噌が送られてくる! びたらぶ会員(会費1万円/年)募集中!

●ファームのスケジュール 9/22-23 コンポストトイレ作り・土壁塗りイベント

## ●野菜の品質について

ぴたらファームでは、収穫・送付時にチェックを行って野菜を万全の状態でお届けしています。しかし、無農薬栽培のため、虫の混入や運送時の温度条件等により野菜に傷み等が出てくる可能性もあります。もし、そうした野菜がございましたら、どうぞ、遠慮なくご連絡ください。次回の送付時に代替りの野菜をお送りします。

また、野菜セット全体にご不満のある場合には、代金はいただきませんのでご連絡ください。

ぴたらぶファーム 

～自然循環型のオーガニック・ファーム～

〒408-0313 山梨県北杜市白州町横手 1118



たさいたいと あおきさいか くりやしんご なかの かもりまさみ  
田才泰斗、青木彩華、栗谷真吾、中野ちはる、川森昌美(畑担当)

たさいたいじゅ たさいさとこ  
田才大樹、田才暁子(運営担当)

携帯:090-2055-3424、TEL/FAX:0551-35-2793 pitarafarm@gmail.com <http://pitarafarm.com>